

法 規

法 規 12問 } 24問 1時間
無線工学 12問 }

(注) 解答は、答えとして正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入（マーク）してください。

- 〔1〕 無線局の予備免許が与えられるときに指定される事項は、次のどれか。
1. 空中線電力
 2. 無線局の名称
 3. 免許の有効期間
 4. 無線設備の設置場所
- 〔2〕 次の記述は、電波法施行規則に規定する「送信装置」の定義であるが、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。
- 「送信装置とは、無線通信の送信のための高周波エネルギーを発生する装置及び をいう。」
1. 空間へふく射する装置
 2. これに付加する装置
 3. 送信空中線系
 4. その保護装置
- 〔3〕 航空特殊無線技士の資格を有する者が、25,010 キロヘルツ以上の周波数の電波を使用する航空局（航空交通管制の用に供するものを除く。）の無線電話で国内通信のための通信操作を行うことができるのは、空中線電力何ワットまでか、正しいものを次のうちから選べ。
1. 50ワット
 2. 30ワット
 3. 20ワット
 4. 10ワット
- 〔4〕 無線局が臨時に電波の発射の停止を命ぜられることがある場合は、次のどれか。
1. 免許状等に記載された空中線電力の範囲を超えて運用したとき。
 2. 発射する電波の質が総務省令で定めるものに適合していないと認められるとき。
 3. 発射する電波が他の無線局の通信に混信を与えたとき。
 4. 略語を使用して通信を行ったとき。
- 〔5〕 免許人（包括免許人を除く。）が正当な理由がないのに無線局の運用を引き続き何箇月以上休止したときにその免許を取り消されることがあるか、正しいものを次のうちから選べ。
1. 1箇月
 2. 2箇月
 3. 3箇月
 4. 6箇月
- 〔6〕 免許人は、無線局の検査の結果について指示を受け相当な措置をしたときは、その措置の内容をどうしなければならないか、正しいものを次のうちから選べ。
1. 直ちに届け出る。
 2. 無線業務日誌に記載しておく。
 3. 無線検査簿に記載するとともに報告する。
 4. 適宜の用紙に記載し無線検査簿に添付しておく。

法

規

〔7〕 無線通信の原則として無線局運用規則に規定されているものは、次のどれか。

1. 無線通信は、長時間継続して行ってはならない。
2. 無線通信における通報の送信は、試験電波を発射した後でなければ行ってはならない。
3. 無線通信は、正確に行うものとし、通信上の誤りを知ったときは、通報の送信後、訂正箇所を通知しなければならない。
4. 必要のない無線通信は、これを行ってはならない。

〔8〕 次の記述は、航空移動業務の無線電話通信における応答事項を掲げたものであるが、 内に入るべき字句を下の番号から選べ。

- ① 相手局の呼出符号 1回
② 自局の呼出符号

1. 1回
2. 2回
3. 3回
4. 3回以下

〔9〕 義務航空機局の運用義務時間として無線局運用規則に定められているものは、次のどれか。

1. 航空機の航行中及び航行の準備中常時
2. 航空機の航行の準備中常時
3. 航空機の航行中常時
4. 航空機の出発準備から離陸までの時間中及び着陸準備から着陸までの時間中常時

〔10〕 遭難航空機局（遭難通信を宰領したものを除く。）は、その航空機について救助の必要がなくなったときは、どうしなければならないか、正しいものを次のうちから選べ。

1. その航空機を運行する者に通知しなければならない。
2. 遭難通信を宰領した無線局にその旨を通知しなければならない。
3. 直ちに責任航空局に通知しなければならない。
4. 航空交通管制の機関にその旨を通知しなければならない。

〔11〕 無線局は、自局の呼出しが他の既に行われている通信に混信を与えている旨の通知を受けたときは、どうしなければならないか、正しいものを次のうちから選べ。

1. 直ちにその呼出しを中止する。
2. 空中線電力を低下してその呼出しを続ける。
3. できる限り短い時間にその呼出しを終える。
4. 数秒間その呼出しを中止してから再開する。

〔12〕 無線電話通信において、応答に際して直ちに通報を受信しようとするとき、応答事項の次に送信する略語は、次のどれか。

1. OK
2. 了解
3. どうぞ
4. 送信してください。